

# EAGLES

## CONTENTS

使用レコード 2

譜面の見方 4

TAKE IT EASY/テイク・イット・イージー 5

WITCHY WOMAN/魔女のささやき 14

THE BEST OF MY LOVE/我が愛の至上 22

ONE OF THESE NIGHTS/呪われた夜 30

LYIN' EYES/いつわりの瞳 38

TAKE IT TO THE LIMIT/テイク・イット・トゥ・ザ・リミット 51

HOTEL CALIFORNIA/ホテル・カリフォルニア 58

LIFE IN THE FAST LANE/駆け足の人生 72

I CAN'T TELL YOU WHY/言い出せなくて 84

HEARTACHE TONIGHT/ハートエイク・トゥナイト 93

Front Cover Photo by Koh Hasebe/Music Life

# TAKE IT EASY

Words & Music by Jackson Browne & David Pinyan

全体を通して、6弦や12弦のアコースティック・ギターが8分音でストロークしている軽快なカントリー・タッチの曲だ。この曲のギターは、四拍子以降、譜面では省略してあるが、コードネーム通りに単純にストロークしているだけなので問題はないだろう。エレキギターは、すべてナチュラルなサウンドでの演奏だ。上段のE.G. 1は、少しヴィブラートのようなものがエフェクターとしてかけられているようだ。コーラス系のアタッチメントを使うと良いだろう。四拍子からのE.G. 2は、軽いピッキングでコード・ピッキングを行なっている。これは、音を切らずに伸ばし続けるのがポイントだ。四拍子からはE.G. 1が単音によるリフ、E.G. 2がコードという組み合わせになっている。フィンガリング・ポジションを工夫すれば、1本のギターで、E.G. 1、2両方の音をカバーすることも可能だ。余裕があればトライしてもらいた

い。四拍子はギター・ソロだ。ここはカラッととしたクリアなサウンドで弾いている。スライドや、チョーキングを多用しており、2音のフレーズも多く出てくる。フレーズがとぎれることのないように、流れるように弾いてもらいたい。この曲では後半、バンジョーも重ねて入れられている。16分音符によるバンジョー特有のフォー・フィンガー・ピッキングだ。これはスペースの都合上省略させてもらった。レコードでは、ギターだけでもかなりの数が入れられており、すべての音を譜面に記すことは不可能なのであしからず。この曲でのドラムとベースは、非常にシンプルな8ビート・パターンを弾いている。スネア・ドラムは、軽いサウンドで、決してハデにならないように叩くと良いだろう。ベースも、必要以上に音を伸ばさないで、軽快なノリでプレイしよう。

## Intro

VOCAL

C G D G

GUITAR I

GUITAR II - Acco. Guitar ->

BASS

DRUMS